

事務事業評価票 [市単独補助金]

令和 2 年度

担当課 農林水産課

基本事項	補助金(事業)名	FRP漁船廃船処理事業費補助金			整理番号	1408
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱 島原市農林水産業振興事業 (FRP漁船廃船処理事業) 事務取扱要領			実施を義務付ける規定	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標3 賑わいと活力を興すまちづくり	予算科目	6 款 3 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規
		施策	施策3-2 水産資源を守り育てるまち	区分	奨励・助成	

事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	廃船しようとするFRP漁船を所有する漁業者				実施期間	始期	平成	19	年度から
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	平成19年度から事業を開始したが、事業開始以前は多数の漁船が廃船されずに放置されている状況であった。本事業開始により、毎年予算範囲内で廃船処理を続けてきた結果、現在、港内の安全が担保されている状況である。								
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	廃船されず放置されている漁船を適宜処理することで、漁船の航行及び荷揚げ時の安全性を確保し、もって港内漁業活動の健全化を図ることを目的としている。								
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	1隻あたり、廃船処理にかかった費用の1/3以内。 ただし、算出された額が5万円を超える場合には、5万円を上限とする。								

事業費等の推移	区分	28年度		29年度		30年度		1年度		2年度	
		実績		実績		実績		実績		予算額	
	補助金交付額(千円)	304		635		452		270		500	
	① 団体等事業費(千円)										
	② 歳入内訳(千円)										
	会費等										
	前年度繰越金										
	市補助金										
	その他の助成金										
	その他雑収入										
	次年度繰越金(②-①)	0		0		0		0		-	

1年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載)(単位:千円)

項目	金額	項目	金額

補助金の使途についての特記事項等	
------------------	--

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	廃船されず放置されている漁船を適宜処理することで、漁船の航行及び荷揚げ時の安全性を確保し、もって港内漁業活動の健全化を図ることができている。漁港内における係船の整理を行うことができ、港内での事故の減少にもつながっている。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	

○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 総合評価 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) ———▶ () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) ———▶ ()
	判 定 理 由	廃船されず放置されている漁船を適宜処理することで、漁船の航行及び荷揚げ時の安全性を確保し、もって港内漁業活動の健全化を図ることができている。本事業は自助努力による財源の確保は期待できないため、市の関与が今後も必要な事業である。よって、活動内容、助成額ともに見直しの必要はないと考える。
	今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合) 課 題 見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	本市には現在放置船はなく、廃船の適正処理のための取組として、また、港内安全確保のための取組として評価でき、今後も継続して補助する必要がある。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)		
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減:	0千円
備 考		